

- 京都ならではの資源（文化，観光，大学，伝統・先端産業）を活かし，新たな魅力や価値を継承・創造・発信
- 市域全体での発現を促し，地域のまちづくりと結び付け（あらかじめゾーンを決めない）
- 市民や専門家と共に，新たなゾーンのコンセプトや使い方を生み出す

エリア	地域の想定例（主な用途地域）	施設の想定例
広域拠点	京都駅東南部エリア（住居系）	<u>若手芸術家の創作工房，小劇場</u>
地域中核拠点	嵐山，東山（住居系）	<u>歴史・伝統文化の体験・海外発信できる ミュージアム</u>
日常生活	大学周辺（住居系）	<u>学生・若手研究者のものづくりラボ， 伝統産業を活かした研究施設</u>
緑豊か	北部山間，大原野（調整区域）	<u>国内外の観光客が地域独自の文化や産業等 の交流・体験施設</u>

用途地域，建築基準法第 4 8 条，別表第二